

【第5章】戦後日本の枠組み-天皇、憲法、東アジア-

3. 幸徳秋水と現代世界-戦争、庶民、アジア- (p. 130)

1		なるもの	資格や立場を表す。～であるところの。～というもの。
3		あらぬ	①あってはならない。常識はずれの。②違っている。見当違いの。
5		先駆	せんく 他の人より先に物事をする事。さきがけ。
8	*	姑息	こそく 一時の間に合わせにすること。その場しのぎ。(※近年、「ひきょうなさま、正々堂々と取り組まないさま」の意で用いられることがある。)
8	*	功名	こうみょう 手柄を立てて、名誉を手に入れること。また、その手柄。
8		奇利	きり 思いがけない利益。
8	*	趁う	お-う あるものを得ようと追いかける。追い求める。
8		絶叫	ぜっきょう 出せるかぎりの声を出して叫ぶこと。また、その叫び。
9	*	曰く	いわ-く ①(副詞的に用いて)言うことには。②隠れた事情や理由。
9		四境	しきょう 周囲。四方の国境。
11	*	各々	おのおの ①(人間について)ひとりひとり。各自。②(事物について)ひとつひとつ。それぞれ。
11	*	而して	しこう-して そして。それから。(※多く漢文訓読文に用いられる。)
12	*	国賊	こくぞく 国家に害を与える人。
17	*	直訴	じきそ 一定の手続きを経ないで、直接に天皇・将軍・上役などに訴え出ること。
18	*	起草	きそう 文章の下書きを書き始めること。案として書いた文章を作ること。
20	*	抗い	あらが-い ①抵抗。さからうこと。②相手の言うことを否定して言い争うこと。
24		意味あい	いみ-あい 他の物事や表現とのかわりにおいて帯びる意味。また、それとなく示される意味内容。
26	*	麻酔(する)	ますい(する) 一時的に神経機能を低下させて、痛みの感覚をはじめ知覚や意識を失わせること。ここでは比喩的に用いられ、感覚が無くなり、物事の是非が正常に判断できない状態を指している。
26		なげうつ	①惜しげもなく差し出す。また、捨ててしまう。②投げつける。なげすてる。
27	*	弊害	へいがい 害になること。他に悪い影響を与える物事。
28		かわす	①巧みに避けて逃れる。②すばやくからだを動かして避ける。
30		国光	こっこう 国の栄光。
30		国威	こくい 国の威力。その国が対外的に持つ威力。
31	*	墮落	だらく ①おちぶれること。②行いが悪くなり、生活が乱れること。③<仏語>道心を失ってけがれた心をもつこと。
40	*	後身	こうしん ①組織や団体などが、元の形から変わって現在の姿になったもの。②生まれ変わった身。また、境遇や性格などが変わった、あとの身。
40		亡命	ぼうめい ①政治的弾圧や思想の相違、宗教・人種的な理由による迫害を避けるために自国から外国へ逃れること。②戸籍を抜けて逃亡すること。
43		亜州	あしゅう アジア。
45		著す	あらわ-す 書物を書いて世に出す。書いて出版する。
51		フレームアップ	事件を捏造したり、人に無実の罪を着せたりすること。でっちあげ。政治的反対者を孤立させ、弾圧・攻撃する口実とするために用いられる。
52	*	冤罪	えんざい 罪がないのに、疑われたり罰を受けたりすること。無実の罪。ぬれぎぬ。
53		共振	きょうしん 他人の考えや行動などに心から同感すること。
58		傾倒	けいとう ①主義・思想などの事柄に深く心を引かれ、夢中になること。また、ある人を心から尊敬し、慕うこと。②傾き倒れること。
60	*	孤塁	こるい 孤立した根拠地。
61	*	厳酷	げんこく 厳しくむごいこと(さま)。非常に厳しいこと(さま)。